

〔国際会議開催〕

申請者	大阪大学 蛋白質研究所 教授 藤原 敏道	2205007
国際会議名称	ISMAR-APNMR-NMRSJ-SEST 2021 合同会議	
開催期間	2021 年 8 月 22 日～8 月 27 日 オンデマンド配信 2021 年 8 月 27 日～9 月 19 日	
開催場所	オンライン上のバーチャル会議	
申請者の役割	組織委員会委員長	

概 要：

当会議は国内外から第一線研究者が出席する磁気共鳴に関する世界最大規模の国際会議です。近年の磁気共鳴法の発展はめざましく、NMR による生体高分子の構造決定法の開発 [Kurt Wüthrich 博士 (ノーベル化学賞)], 磁気共鳴画像技術 (MRI) の確立 [Richard R. Ernst 博士 (ノーベル化学賞), Paul C. Lauterbur 博士, Sir Peter Mansfield 博士 (ノーベル医学生理学賞), 小川誠二博士 (ガードナー賞)] 等の業績に顕著に示されるように、基礎科学から医療現場に至るまで幅広い分野で大きな社会貢献を果たしています。当会議は、その時々の第一線の研究者による最先端の研究成果の発表と討論を通じて、磁気共鳴の新たな原理および応用の発展を図るだけでなく、様々な専門分野の研究者間の密接な交流の場を提供することも重要な目的としています。

高齢化社会を迎えつつある今日、我が国の掲げる科学技術政策において、磁気共鳴研究の人間社会への応用は大きな可能性を秘める分野としてその重要性はますます高まっています。特に、脳の高次機能の統合的理解は人間と機械との調和を促進する上で不可欠な基盤であり、小川博士の研究をもって嚆矢とする磁気共鳴画像技術 fMRI は、その中核技術として本会議においても取り上げました。磁気共鳴で最も権威ある国際会議 ISMAR を主催し、918 名 (日本からは 414 名) という多数の参加者を得て高い事後評価を受けたことで、本分野における我が国研究者の幅広い貢献、磁気共鳴研究の更なる発展、次世代を担う若手研究者の育成の場の提供への寄与が広く認められました。